

海のいのち 立松 和平

めあて

初発の感想をもとにして、「海のいのち」の学習計画を立てよう。

登場人物 太一（主人公）

おとう、与吉じいさ、クエ、おかあ

読み深めたいこと

父や与吉じいさの生き方と太一の生き方
「千びきに一びき」や「海のいのち」の意味 など

文章構成

起 あこがれの父を亡くした場面

承 与吉じいさに学ぶ場面

転 クエと出会い、太一の思いが転換する場面

結 結婚し、村一番の漁師として生きる場面

発表会	「海のいのち」を 読む					計画 立て		時				
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	時	
ポスター・セッションを行う	ポスター・セッションの準備	「結」の部分を読む 太一の成長から登場人物の役割をふり返り、「海のいのち」の主題を考えよう					見つけよう	「転」の部分を読む 太一の心が変化するクライマックスの一文を	「承」の部分を読む 与吉じいさの人物像について考えよう	「起」の部分を読む 太一とおとうの人物像を読み取ろう	学習の計画を立てる	学習の内容
発表の準備をする	ポスターの準備をする	ポスターの主題	・あらすじ	・心に残った一文	・感想							

2/11 時間目 指導略案 使用するワークシート：②

活動のねらい

登場人物、文章構成をとらえ、ポスター・セッションの目的を達成できる単元の学習計画を立てるようになる。

1 本時の見通しをもつ。

○ 前時のポスター・セッションで確認したい力を思い出させ、ポスター・セッションの目的を達成できる学習計画を立てることを確認させる。

2 全文を通読し、物語の登場人物や文章構成を確認する。

① 登場人物や文章構成などに気を付けながら全文を読む。

② あらすじ、登場人物を確認する。

○ 登場人物の中の「主人公」「その他の登場人物」などを押さえるようにする。

* 主人公は「物語のはじめと終わり」で考えや行動が大きく変わる登場人物」ととらえさせていきます。登場人物の相互関係をとらえさせるためにも、物語における主人公とはどんな登場人物なのかを明らかにしておく必要があります。

③ 全文の文章構成を「起・承・転・結」の四つに分け、学習計画を立てる。

* 学習指導要領解説（平成二十年八月）の中には「状況設定」「発端」「事件展開」「山場」「結末」が物語の文章構成の例として挙げられています。ここでは、これまでの学習経験から「起承転結」を用いています。

3 四つの場面を読み取る時間とポスター・セッションにかかる時間を考えて、学習計画を立てる。

○ 学級全体で話し合いながら、各時間の主たる活動や読み取る時間の学習のめあてを考えさせることで、単元全体の学習の見通しをもたせるようにする。

* 本時において、ポスター・セッションの発表を全員が行うことを知らせておきます。そうすることで、目的意識をもたせた物語の読み取りやポスター・セッションの準備に取り組ませることができると考えます。

評価 登場人物、文章構成を基にして、ポスター・セッションまでの学習計画を立てることができている。

4 学習を振り返り、自己評価をする。